

## 診断学・症候学

責任者・コーディネーター	内科学講座血液・腫瘍内科分野 石田 陽治 教授		
担当講座・学科(分野)	内科学講座糖尿病・代謝内科分野、内科学講座神経内科・老年科分野、臨床検査医学講座、内科学講座血液・腫瘍内科分野、眼科学講座、耳鼻咽喉科学講座、内科学講座消化器・肝臓内科分野、内科学講座呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野、内科学講座心血管・腎・内分泌内科分野、泌尿器科学講座、産婦人科学講座、整形外科科学講座、脳神経外科学講座、皮膚科学講座、放射線医学講座、救急医学講座、災害医学講座		
担当教員	高橋 和真 准教授、高橋 智 教授、阿保 徹 助教、村井 一範 講師、米澤 久司 講師、黒坂 大次郎 教授、舘田 勝 准教授、遠藤 昌樹 准教授、山内 広平 教授、蒔田 真司 准教授、黒田 英克 助教、大森 聡 講師、吉崎 陽 准教授、西田 淳 講師、吉田 研二 講師、赤坂 俊英 教授、江原 茂 教授、千葉 俊美 准教授、滝川 康裕 教授、伊藤 薫樹 准教授、石橋 靖宏 講師、菊池 貴彦 非常勤講師、鈴木 泰 講師、鈴木 順 講師、中村 豊 講師、町田 繁樹 准教授		
対象学年	4	区分・時間数	講義 45 時間
期 間	後期		
単 位 数	0 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

患者の訴えからその病気の診断までの思考過程を確立する。つまり、患者基本情報、患者観察、医療面談、身体診察、検査の選択と結果の解釈、治療閾値、診断のスパイラルを検証する。

### ・一般目標（GIO）

症候学・診断学を通して、患者におきている病態生理、おきようとしている病態の把握を行い、診断にまで到達することができる。さらには、治療の選択を、患者のいろいろな情報を基礎に選択でき、選択した時に治療効果を評価することができる。

・到達目標 (SBO)

1. 患者の基本情報を基に疾患の類推をすることができる。
2. 患者の観察情報を通して、可能性のある疾患をさらに絞ることができる。
3. 医療面接情報を通して、可能性のある診断に至ることができる。
4. 理学的所見情報を通して、可能性のある診断に至ることができる。
5. 検査情報を通して、考えられる疾患の鑑別診断が可能となる。
6. 患者の複雑な背景の中で、どのような治療を選択すべきかを考えることができる。

・講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
10/15	月	3	血液・腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	診断の考え方・進め方
10/15	月	4	糖尿病・代謝内科分野	高橋 和真 准教授	診察の進め方1：医療面接・身体診察（身体診察の方法、バイタルサイン、全身状態）
10/17	水	3	災害医学講座	高橋 智 教授	診察の進め方2：身体診察（神経所見）
10/17	水	4	臨床検査医学講座	阿保 徹 助教	検査計画の立て方・カルテの記載法
10/19	金	3	血液・腫瘍内科分野	村井 一範 講師	症候学1：全身状態（発熱、倦怠感、肥満、るいそう、成長障害、貧血、リンパ節腫脹等）
10/19	金	4	神経内科・老年科分野	米澤 久司 講師	症候学2：失語、失行、失認、痙攣、構音障害、運動麻痺、感覚麻痺、運動失調、不随意運動、歩行障害
10/22	月	3	眼科学講座	町田 繁樹 准教授	顔（視覚障害、眼球突出、眼瞼下垂、瞳孔異常、眼底異常、眼球振せん、眼球運動異常等）
10/22	月	4	耳鼻咽喉科学講座	舘田 勝 准教授	症候学4：頸部、咽頭、喉頭（咽頭痛、喉頭痛、嗄声、いびき、甲状腺、舌異常等）

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
10/24	水	3	呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	山内 広平 教授	症候学5：呼吸器（咯血、血痰、胸部圧迫感、胸痛、呼吸困難、喘鳴、低酸素血症、胸水等）
10/24	水	4	消化器・肝臓内科分野	遠藤 昌樹 准教授	症候学6：食欲不振、胸やけ、げっぷ、口乾、嚥下困難、吐血等）
10/26	金	3	心血管・腎・内分泌内科分野	蒔田 真司 准教授	症候学7：心臓（動悸、脈拍異常、胸痛、高血圧、低血圧、ショック、チアノーゼ、静脈怒張、ばち状指、浮腫等）
10/26	金	4	消化器・肝臓内科分野	黒田 英克 助教	症候学8：腹部（腹痛、腹部膨満、腹水、肝・脾腫、下痢、便秘、下血等）
10/31	水	3	泌尿器科学講座	大森 聡 講師	症候学9：泌尿器（腰痛、排尿障害、排尿痛、頻尿、無尿、乏尿、血尿等）
10/31	水	4	産婦人科学講座	吉崎 陽 准教授	症候学10：産婦人科（子宮腫大、卵巣、過多月経、無月経、不正性器出血等）
11/2	金	3	整形外科科学講座	西田 淳 講師	症候学11：四肢（四肢痛、関節痛、末梢血行障害、筋脱力、筋萎縮、筋緊張異常等）
11/2	金	4	脳神経外科学講座	吉田 研二 講師	症候学12：意識障害、頭痛・頭重感、頭蓋内圧亢進、瞳孔異常、脳神経障害、脳局所症状、植物状態
11/5	月	3	皮膚科学講座	赤坂 俊英 教授	症候学13：皮膚の痒み、皮膚潰瘍、蝶形紅斑、脱毛、発汗、皮膚老化、爪囲紅斑、顔の丘疹、多型皮膚萎縮
11/5	月	4	放射線医学講座	江原 茂 教授	レントゲン・CT・MRI の読み方1・各疾患における特徴的所見の読み方
11/7	水	3	放射線医学講座	江原 茂 教授	レントゲン・CT・MRI の読み方2・各疾患における特徴的所見の読み方
11/7	水	4	呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	鈴木 順 講師	診断演習1

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
11/9	金	3	消化器・肝臓内 科分野	千葉 俊美 准教授	診断演習 2
11/9	金	4	糖尿病・代謝内 科分野	高橋 和真 准教授	診断演習 3
11/12	月	3	血液・腫瘍内科 分野	伊藤 薫樹 准教授	診断演習 4
11/12	月	4	心血管・腎・内 分泌内科分野	蒔田 真司 准教授	診断演習 5
11/16	金	3	心血管・腎・内 分泌内科分野	蒔田 真司 准教授	診断演習 6
11/16	金	4	消化器・肝臓内 科分野	滝川 康裕 教授	診断演習 7
11/19	月	3	呼吸器・アレルギー ・膠原病内科分 野	中村 豊 講師	診断演習 8
11/19	月	4	神経内科・老年 科分野	石橋 靖宏 講師	診断演習 9
11/21	水	3	神経内科・老年 科分野	菊池 貴彦 非常勤 講師	診断演習 10
11/21	水	4	救急医学講座	鈴木 泰 講師	診断演習 11

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

統合試験による。

・特記事項・その他

<p>1. 診断の考え方・進め方</p> <p>2. 診察の進め方1：医療面接・身体診察（身体診察の方法、バイタルサイン、全身状態）</p> <p>3. 診察の進め方2：身体診察（神経所見）</p> <p>4. 検査計画の立て方・カルテの記載法</p> <p>5. 症候学1：全身状態（発熱、倦怠感、肥満、るいそう、成長障害、貧血、リンパ節腫脹等）</p> <p>6. 症候学2：失語、失行、失認、痙攣、講音障害、運動麻痺、感覚麻痺、運動失調、不随意運動、歩行障害</p> <p>7. 症候学3：顔（視覚障害、眼球突出、眼瞼下垂、瞳孔異常、眼底異常、眼球振せん、眼球運動異常等）</p> <p>8. 症候学4：頸部、咽頭、喉頭（咽頭痛、喉頭痛、嗄声、いびき、甲状腺、舌異常等）</p> <p>9. 症候学5：上部消化管（悪心・嘔吐、食欲不振、胸やけ、げっぷ、口乾、嚥下困難、吐血等）</p> <p>10. 症候学6：呼吸器（喀血、血痰、胸部圧迫感、胸痛、呼吸困難、喘鳴、低酸素血症、胸水等）</p> <p>11. 症候学7：心臓（動悸、脈拍異常、胸痛、高血圧、低血圧、ショック、チアノーゼ、静脈怒張、ばち状指、浮腫等）</p> <p>12. 症候学8：腹部（腹痛、腹部膨満、腹水、肝・脾腫、下痢、便秘、下血等）</p> <p>13. 症候学9：泌尿器（腰痛、排尿障害、排尿痛、頻尿、無尿、乏尿、血尿等）</p> <p>14. 症候学10：産婦人科（子宮腫大、卵巣、過多月経、無月経、不正性器出血等）</p> <p>15. 症候学11：四肢（四肢痛、関節痛、末梢血行障害、筋脱力、筋萎縮、筋緊張異常等）</p> <p>16. 症候学12：意識障害、頭痛・頭重感、頭蓋内圧亢進、瞳孔異常、脳神経障害、脳局所症状、植物状態</p> <p>17. 症候学13：皮膚全般</p> <p>18. レントゲン・CT・MRIの読み方1・各疾患における特徴的所見の読み方</p> <p>19. レントゲン・CT・MRIの読み方2・各疾患における特徴的所見の読み方</p> <p>20. 診断演習1：呼吸器・アレルギー・心療</p> <p>21. 診断演習2：消化器・肝臓</p> <p>22. 診断演習3：糖尿病・代謝</p> <p>23. 診断演習4：血液・腫瘍</p> <p>24. 診断演習5：循環器・腎臓・内分泌</p> <p>25. 診断演習6：循環器・腎臓・内分泌</p> <p>26. 診断演習7：消化器・肝臓</p> <p>27. 診断演習8：呼吸器・アレルギー・心療</p> <p>28. 診断演習9：神経・老年</p> <p>29. 診断演習10：神経・老年</p> <p>30. 診断演習11：救急医学</p>
---

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			